

記入例

毎月20日が締め切りです。
(閉庁の場合は、前開庁日)

農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地(採草放牧地)の(一) 所有権 を取得 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 年 月 日

(あて先)京田辺市農業委員会会長

申請者

譲渡人(貸人)

田辺 太郎

譲受人(借人)

綴喜 三郎

「貸借権を設定」の場合は、譲渡人(譲受人)を消します

記

登記簿謄本上の住所と異なる場合は、別途、書類等が必要となりますので、ご相談ください

1 申請当事者の氏名(名称)等

当事者	氏名(名称)	年齢	職業	住所	国籍
譲渡人(貸人)	田辺 太郎	75	農業	京田辺市大住○番地	
譲受人(借人)	綴喜 三郎	65	会社員兼農業	京田辺市草内○番地	日本

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 m ²	作付作物 及び10アール当たり 普通収穫高 kg	利用 状況	所有者 氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
草内新池△	田	田	330	200	水稻	田辺太郎	30年	田辺太郎	所有権	
大住三野△	畑	畑	800	1600	ナス	同上	25年	同上	同上	

譲受人(借人)の国籍を記入します。

筆多数につき書ききれない場合は、別紙に記入の上、双方の実印で割り印してください

貸借権の設定がある場合は、解約の手続きを行ってください

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 高齢で管理ができないため農業経営を縮小する。

(貸人)

譲受人の事由 隣接所有地と一体利用して農業経営の拡大を図る。

(借人)

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和 ○年 ○月 ○日 契約期間

対価 総額 ○○千円 3. 3m²当たり ○○千円

(賃料(年額) 円)

- 5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 ()内には、 作付作物を記載すること。	譲受人(借入)					
	所有地			借入地		経営地合計 (①+④) ㎡
	自作地 ① ㎡	貸付地 ② ㎡	その他 ③ ㎡	現に耕作中の土地 ④ ㎡	その他 ⑤ ㎡	
田(水稻)	7,826					7,826
畑(大豆)				350		350
樹園地()						
計	7,826			350		8,176
採草放牧地						

※ ③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

- 6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等(構成員)がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況(法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況)

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	年間農作業従事日数	農作業経験(研修)年数
(世帯員等)	綴喜三郎	65		250日	30年
	綴喜花子	60	妻	230日	20年
雇用者					
臨時雇用者			年間延べ従事日数		日

農作業常時従事要件

原則世帯合計150日以上が条件です

全部効率利用要件

- 7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種類	農業用自動車	トラクター	田植機	コンバイン	耕耘機				
既確保	1	1	1	1					
導入予定		1							

- 8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は採草放牧の権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地への利用に及ぼす影響を記載してください。

今回申請する農地周辺の農地利用に影響を与えないことを確約してください

- ・ 周囲と同等の農業を行うため、周辺農地への影響はありません。

地域との調和要件